

令和3年(ワ)第23302号 国家賠償請求事件

原告 大川原化工機株式会社 外5名

被告 国外1名

当事者照会書

令和5年1月30日

被告東京都指定代理人

飯田隼矢 殿

寺内伊織 殿

寺本孝規 殿

松本 涉 殿

高橋一光 殿

川尻拓也 殿

FAX 03-5388-1262

原告ら訴訟代理人

弁護士 高田 剛



〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目5番1号

大手町ファーストスクエア イーストタワー19階

和田倉門法律事務所

電話 03-6212-8100

FAX 03-6212-8818

標記事件につき、原告らは被告東京都に対し、立証を準備するために必要な下記事項に関して10日以内に書面で回答されるよう、民事訴訟法163条に基づき照会申し上げます。

照 会 事 項

1 本件照会の必要性

本訴訟について、原告らは、警視庁公安部が下記事件（以下、「本件刑事事件」という。）の捜査の過程で経済産業省と打合せを行った際に、本件省令の解釈運用につき同省より聴取した内容を立証するため、打合せに参加した司法警察職員に対する証人尋問の申し出を行う予定である。このため、下記照会事項について被告東京都の回答を得る必要がある。

記

- ・ 事件番号 令和2年特（わ）第858号
事件名 外国為替及び外国貿易法違反被告事件
被告人 大川原化工機株式会社、大川原正明、相嶋静夫、島田順司
- ・ 事件番号 令和2年特（わ）第1327号
事件名 外国為替及び外国貿易法違反等被告事件
被告人 大川原化工機株式会社、大川原正明、相嶋静夫、島田順司

以上

2 照会事項

本件刑事事件において検察官から弁護人に交付された「供述調書及び証拠書類一覧表」（別紙）記載の証拠のうち、2544番から2560番までの書類（捜査メモ複写報告書）の原資料である各メモにつき、聴取日及び聴取者である司法警察職員の氏名

以 上

別紙

供述調書及び証拠書類一覧表			
番号	標目	作成年月日	供述者又は作成者の氏名
2555	捜査メモ複写報告書（平成30年2月8日付、  ）	令和3年7月1日	
2556	捜査メモ複写報告書（平成30年2月27日付、  ）	令和3年7月1日	
2557	捜査メモ複写報告書（平成29年10月31日付、  ）	令和3年7月1日	
2558	捜査メモ複写報告書（平成29年11月9日付、  ）	令和3年7月1日	
2559	捜査メモ複写報告書（平成30年1月30日付、  ）	令和3年7月1日	
2560	捜査メモ複写報告書（平成30年2月5日付、  ）	令和3年7月1日	
2561	捜査メモ複写報告書（平成29年12月14日付、  ）	令和3年7月1日	
2562	捜査メモ複写報告書（平成29年12月22日付、  ）	令和3年7月1日	